

友好都市を含めた交流を  
大歓迎を受けた津別台湾訪問団

11月10日から5日間の日程で佐藤町長、議会議員、農協職員ら11人が台湾の彰化県二水郷などを訪問し、各地で大歓迎を受けました。11日は、彰化県二水郷で伝統の引水祭りに参加し、許文耀郷長からの歓迎と紹介が行われ、佐藤町長から、姉妹都市提携を視野に交流を進めたい。ぜひ北海道へも来てください」とあいさつ。夜には、天燈祈願を行う天燈作りを体験し、訪問団のために催された天燈祈願祭で、自作の天燈を夜空に打ち上げました。12日は、全日本リコーダーコンテストで花村賞を獲得した二林鎮の中正国民小学校を訪れ、リコーダー部の演奏を聴き、活波小学校からのメッセージを町長から手渡しました。13日は、津別産農産物の流通に向け、台北市の百貨店や青果市場を視察。各地で交流を深めた訪問団は14日に帰町しました。



中正国民小学校でリコーダー演奏の歓迎を受けました



二水郷の許文耀郷長から特産品の石硯を受け取る佐藤町長

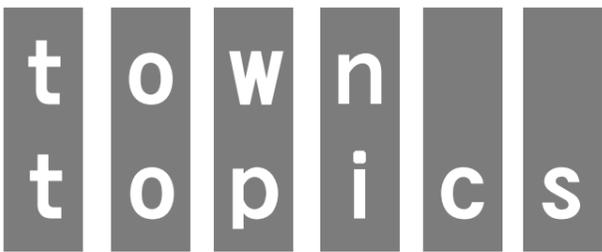
おいしく食べてください  
福祉施設にジャガイモ100kg 寄贈



福祉寮を訪れジャガイモを寄贈するメンバー

10月24日、町内の農業青年たちのグループ「つべつべGROW」が津別で育てたジャガイモ100kgを給食センター、福祉寮、いちいの園、ケアハウスつべつべに寄贈しました。

今回の寄贈は自分たちで育てた農産物を町内に人に味わってほしいと企画されました。ジャガイモは花標淨はなびんじやうという市場にあまり出回っていない品種です（煮くずれにくく肉じゃがに最適）。代表の曾根教勝さんは「農薬をほとんど使っていないじゃがいもなので、みなさんにおいしく食べてほしいです」と話してくれました。



まちのわだい

おめでとございます  
まちづくりの功績に感謝を込めて

町の発展や振興、文化の振興などに功績のあった方々を表彰する、表彰式が、11月3日、中央公民館で行われました。今年には自治、福祉、消防、善行、文化の分野で功績のあった11氏1法人1団体です。（広報11月号で紹介しています）町の功労者には佐藤多一町長から文化奨励賞の受賞者には土田富保教育委員長職務代理者からそれぞれ表彰状と記念品が授与されました。



受賞者を代表して自治功労者の中村純一さんが「これからもより一層地域社会に貢献し、豊かな津別町のまちづくりに尽くしていきたい」と謝辞を述べました。受賞されたみなさん、おめでとうございます。

郵政事業に大きな功績

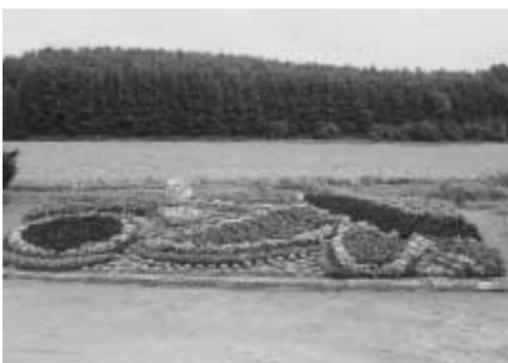
柳沼正壽さん 端宝双光章受章

柳沼正壽さん（豊永）が秋の叙勲で端宝双光章を受章しました。今回の叙勲は長年にわたり郵政業務の発展に寄与された功績が認められたものです。



今回の受賞に際し柳沼さんは「休まず、仕事一筋に頑張ってきたおかげだと思えます。地域のみなさんをはじめ、私を支えてくれた妻にはとても感謝しています」と感想を話してくれました。

北海道花いっぱいコンクール  
高台第2自治会婦人部優良賞



第35回北海道花いっぱいコンクールで高台第2自治会婦人部（井上啓子部長）の花壇が見事、優良賞に選ばれました。

今回のコンクールには全道の地域と職場26団体から応募あり、厳正な審査の結果、3年連続入賞（17年と18年は奨励賞）の快挙を果たしました。

高台第2自治会婦人部の7人は、忙しい農作業の合間に草取りなどの手入れを行い、特に今年は猛暑のため花に病気がついたり、開花期間を保持できる苗に植え替えるなど数多くの苦勞が実りました。

河畔林の樹種と植え方を学ぶ  
網走川河畔林育成講座開催



10月20日、林業研修会館と達美橋近くの網走川沿いを会場に網走川河畔林育成講座（網走開発建設部北見河川事務所主催）が開催され参加者90人が河畔林の役割と大切さを学びました。

初めに環境林づくり研究所齊藤新一郎所長から河畔林が水辺の生態系の中心でとても大切と説明。網走川の河畔林の特徴を聞いた後、タネ播き、枝や幹を埋める挿し枝や伐り株移植の方法を学びました。

その後、バスで達美橋付近に移動し、エゾノウミズサクラやオニグルミ、ハルニレなど6種類の苗木と挿し木を植えました。

ふるさとの味覚を味わう  
東京つべつべ会で再会を誓う



10月21日、東京都のグリーンパレスで、第18回東京つべつべ会総会が開催されました。東京つべつべ会は、東京都など本州に在住する津別出身者と津別とを結ぶ掛け橋としての役割を担っており、384人の会員を有しています。総会では、佐藤多一町長らが津別の近況を報告、引き続き「つべつべを食べる会」が開催され、津別産のじゃがいも、かぼちゃ、シンギスカン、相生の豆腐とそは、オーガニック牛乳が用意され、参加した58人はふるさとの味に舌つづみを打ちながら、思い出話に花を咲かせていました。



地図に張られた写真提案書を説明する参加者と日比野教授



魅力発見ツアー発表会に参加したみなさん

住んで楽しいまちづくりを目指してつべつべ魅力発見ツアー発表会開催

11月17日、林業研修会館で先月のつべつべ魅力発見ツアーで魅力ポイントを撮影した写真を活用する発表会が、長崎純心大学の日比野正己教授を講師に招き行われました。参加者は3グループに分かれて、自分たちがまとめてきた提案書を発表しながら町内地図に記入し、討論しました。最後に参加者10人がそれぞれ提案説明を行い、「相生小学校の利活用」「屈斜路津別線の道路整備」「相生道の駅のブルーベリー園」など32項目について発表しました。

最年少の山田彩恵子さん（小4）は、「少し難しかったけど、魅力発見ツアーはおもしろかったです」と感想を話してくれました。今回、発表された提案は今後の総合計画にも盛り込んでいきたいと考えています。